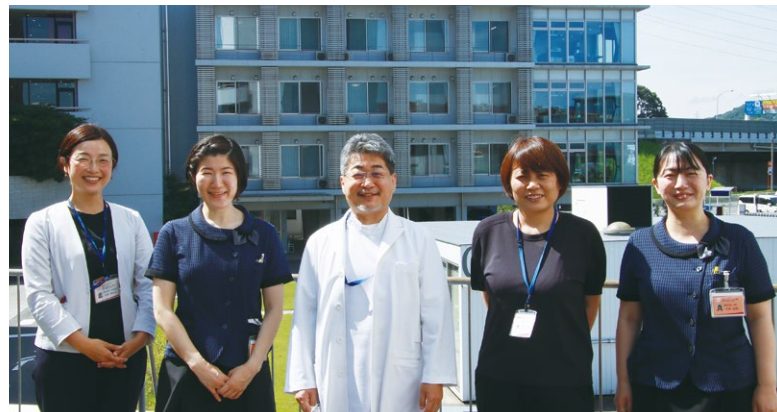


REPORT

人事のお知らせ



令和5年4月にメンバーが入れ替わり、新体制となりました。連携室では、急性期病院等からの相談を受け、各部署と連携をとりながら入院の調整を行っています。ここ数年行えていなかった病院訪問や地域連携会議への参加など、対面での情報交換も再開させていきます。今後ともよろしくお願いいたします。

永田 泉

専門領域：脳神経外科、脳卒中
出身地：福岡県久留米市

1975年に京都大学を卒業後、脳神経外科医として大学病院、大阪北野病院、国立循環器病センター、長崎大学等で診療に従事し、2014年より院長として小倉記念病院に勤務していました。この4月より縁があり当院に勤務しています。これまでは脳卒中の急性期医療を担当していましたが、今後は回復期の患者さん一人ひとりに寄り添いスムーズなリハビリテーションが出来るよう診療に従事したいと思っています。よろしくお願いいたします。



◆当院へのアクセス

JRの場合

「南小倉駅」(日豊本線・日田彦山線)より片野方面へ徒歩10分

バスの場合

「木町二丁目」バス停(ファミリーユサ前)より小倉南区方面へ徒歩10分

都市高速の場合

「紫川IC」清水方面車線出口よりすぐ右側

カーナビでお越しの際は、

NAVI 北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1と入力してください。



KR 医療法人 共和会

小倉リハビリテーション病院／介護老人保健施設 伸寿苑／共和会地域リハビリテーションセンター

TEL.093-581-0668 (代表) FAX.093-581-3319 (共通)

〒803-0861 福岡県北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1 <http://www.kyouwakai.net> 共和会 検索

公式SNSで情報配信中!



Careline

KYOUWAKAI Press ケアライン2023夏号 / 小倉リハビリテーション病院5階 障害者施設等一般病棟のご紹介

発行 医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 連携広報部 井上崇

Careline

KYOUWAKAI Press ケアライン

2023

夏号

特集 小倉リハビリテーション病院5階 障害者施設等一般病棟のご紹介

REPORT 人事のお知らせ

コロナ感染症5類移行後2ヶ月が経過…

梅雨明けが待ち遠しい頃となりました。日頃より私ども法人活動にご理解と御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に移行し2ヶ月が経ちました。3年半にわたった各制限も徐々に緩和され社会の動きは少しずつ変わり始めました。その一方で国が週1回公表している「定点把握」では、コロナ患者数が5類移行前と比べ増加しています。北九州市内の感染状況も4月の時点で全国に比べ少ない傾向にありましたが、6月末から7月にかけ増加しています。法人内の感染症対策は基本的に従来と変わらず行い、もう暫くは社会の動向を注視しながら対応して参ります。

そこで今回のケアライン夏号は「障害者施設等一般病棟」の紹介をしました。当院は5病棟の内4病棟(158床)を回復期リハビリテーション病棟にて運営していますが、1病棟(40床)を障害者施設等一般病棟として進行性疾患や重度の障害をもつ方々を対象に生活期リハビリテーション機能として病棟を運営しています。今回はその役割機能について紹介しました。ご一読いただければ幸いです。

令和5年7月 医療法人共和会 連携広報部長 井上崇



わっしょい百万夏まつり(小倉北区)



小倉リハビリテーション病院5階 障害者施設等一般病棟のご紹介



「社会生活の自立や社会参加に向けたその人らしい生活の支援…」

医師

かかりつけの先生と密に情報共有させて頂きながら患者様・ご家族様の想いを尊重し、チームで伴走型支援して参ります。四肢痙縮に対するボトックス治療、褥瘡陰圧療法、脊損排泄コントロール等にも取り組んでいます

理学療法士

身体機能や動作能力を定期的に評価し、状態に合わせて基本動作練習、必要に応じて装具などを装着して立位・歩行練習などを行い可能な限り身体機能の回復を図ります。また、シーティングやテクノエイドの選定も行います

作業療法士

医学的所見と機能評価に基づいた予後予測のもと、日常生活の再建に向けたリハビリテーションを行います。また、自助具作成、福祉用具の適合、環境調整等により活動を上げられるよう支援していきます

言語聴覚士

嚥下障害の方に対し、食事場面の観察やVF評価を実施して嚥下機能維持・向上を目指します。安全に、可能な限り食事を長く楽しんで頂けるよう支援していきます

医療相談員

重度の障害を持ちながらも、その人らしい暮らしが再開できるような様々な制度の情報提供や、他事業所(ケアマネジャー・計画相談員・各種サービス事業所・医療機関など)との連携・調整を行っていきます

リハビリテーションの特徴

身体機能の回復を図ることが大前提となりますが、本病棟では対象者の大半が生活期(維持期)リハビリテーションの適応となります。身体機能の回復を図りながら、様々なテクノエイドなども活用して、残存する能力が最大限発揮できるためのリハビリテーションをリハ専門医を中心とした各職種がチームで協力して提供します。また、社会生活の自立や社会参加に向けた援助にも力をいれており、その人らしい生活を支援していきます。

※積極的なリハアプローチの経験がない方や神経難病等で緩やかに生活機能低下が予測される方へチームアプローチを通して在宅生活を目指す可能性を追求していきます。

「障害者施設等一般病棟」の入院対象の方

- ① 重度肢体不自由者(脳卒中の後遺症の方・認知症の方以外)～脳性麻痺、低酸素脳症、一酸化炭素中毒、頭部外傷、脳炎、脳症、髄膜炎、脳脊髄腫瘍、SLEなど身体障害レベル重度の方(肢体不自由にて身体障害者1、2級所持の方)
- ② 脊髄損傷などの重度障害者の方。
- ③ 重度の意識障害者～重度の意識障害とは意識レベルがJCSII-3以上。またはGCS8点以下の状態が2週間以上続いている方。意識障害者に関しては、脳血管疾患に起因した意識障害も対象。
- ④ 神経難病～筋ジストロフィー、多発性硬化症、重症筋無力症、スモン、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、ハンチントン病、多系統萎縮症、プリオン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病(ヤール3以上)、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、モヤモヤ病、などに罹患されている方。

入院の相談・問い合わせについて

入院のご相談は当院の連携広報室へお問い合わせください。

月曜～金曜日(祝祭日除く)8:30～17:30

土曜日(祝祭日除く)8:30～12:30

代表TEL 093-581-0668 直通FAX 093-581-0755

歯科衛生士

重度の障害をもつ方の口腔ケアや口腔リハビリテーション、口腔の状態や運動機能を考慮して効果的な口腔清掃方法のアドバイスをはじめ、誤嚥性肺炎の予防や安全に食べられる口腔環境を整えるよう支援しています

管理栄養士

入院生活の楽しみとなるよう美味しい食事作りに努めています。また、医師・看護師・リハ専門職等をはじめとする他職種と連携し、食事環境や内容の工夫・「口から食べること」にむけたサポートを行っています

薬剤師

当病棟では持参薬の種類も多く、服用方法も複雑な場合がよくみられます。入院前から薬剤情報の収集、薬の手配などを行い、入院後も持参薬の一包化など安心安全な薬剤管理に努めています。薬についての相談対応も行います

看護師

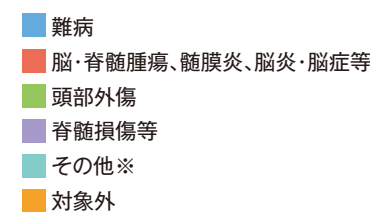
観察を密に行い体調管理に努め安全にリハビリが実施できるように支援します。また、退院後の排尿・排便管理、内服管理の方法などを他職種と協力しながら最適な方法を提供していきます。褥瘡のケア、再発防止にも取り組みます

介護福祉士

様々な疾患を抱える患者様の状態に合わせて、身体・精神的ケアを行い日常生活のサポートを行います。特に排泄に関して失禁の有無や更衣の状況、夜間帯を含めた適切な排泄方法のサポートを他職種とチームで取り組みます

入院患者数と疾患別割合 (障害者施設等一般病棟)

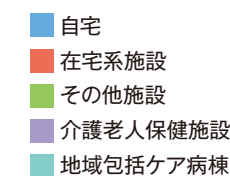
障害者病棟 95名



※対象外=「施設基準に定められている対象疾患以外の者」

退院患者転帰先

障害者施設等一般病棟 退院患者51名



※在宅系施設=有料老人ホーム・グループホームケアハウス サービス付き高齢者向け住宅・軽費老人ホーム
※その他施設=特別養護老人ホーム・障害者施設